

(様式5)

調 査 報 告 書

訪問調査日	平成20年7月29日
調査実施の時間	午前10時～午後2時

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームせせらぎ 鹿児島県
-------------------	---------------------

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏 名 福留 昭 氏 名 新納祐子
事業所側対応者	職 名 管理者 氏 名 鎌田美保子 上曾山恵理 ヒアリングを行った職員数 2名

※記入方法
●「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
●「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。
※項目番号について
●外部評価項目は30項目です。
○「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
○「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。
※用語について
●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。 (他に「家族」に限定する項目がある)
●運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
●職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年7月29日

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定第4670103763号		
法人名	医療法人三州会		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	鹿児島市真砂町34番地1号	099-254-6407	

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま		
所在地	鹿児島市星が峯4-2-6		
訪問調査日	平成20年7月29日	評価確定日	平成20年 8月21日

【情報提供票より】 (20年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤16人 非常勤2人 常勤換算19人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5階建ての 2～3 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	なし		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (7 月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	6名	要介護 2	4名
要介護 3	4名	要介護 4	4名
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 80 歳	最低 70 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大勝病院	田島歯科医院
---------	------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体が医療機関であり、周りに老健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションがあり、小規模多機能ホームが併設されている。医療連携体制を活かしたケアがおこなわれており、入居者や家族が安心できる体制となっている。職員の向上心も高く、人材を育てる環境づくりが、細やかに工夫されている。家族の協力を得ながら、利用者の思いにそった支援に努め、地域の中でその人らしく暮らし続けることに取り組んでいるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価で特に改善事項はなし
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
重点項目②	自己評価は職員全員で話し合い、評価内容の検討も全員で取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
重点項目③	活動状況を報告して助言や要望を聞くなど、多くの意見交換がされ、充実した推進会議になっている。出された意見をサービスの質の向上に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重点項目④	家族との連絡ノートを作成し、気軽に気づいたこと、要望等を記入してもらうようにしている。書き込まれた意見や、運営推進会議での家族の意見なども運営の参考としている。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
重点項目④	積極的に地域の夏祭りや運動会等の行事に参加している。行事では地域住民も協力的で、職員もボランティアで手伝うなどの交流がされている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげてあり、地域密着型サービスとしての理念の基本にも及んでいる。		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援するという基本を言葉としても、明確に理念の中に取り入れることが望ましい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に掲示され、朝礼時にも全員で唱和している。職員の周知を高めるため、ネームの裏側にも添付し実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事の夏祭りや運動会等に積極的に参加している。行事では、指定席が設けられたり、職員もボランティアとして手伝ったりして、地域の一員として交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員に手渡し、各自に評価してもらい、その結果を皆で確認している。気づいた点については、改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動状況等についての報告をし、その内容についての助言や要望を聞き、サービスの向上に活かしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは気軽に相談や助言をもらえるように、日常的に行き来する機会を多くつくり、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各居室に連絡帳が備え付けてあり、職員は毎日の暮らしぶりや特記事項を記入し、家族には面会時に見てもらっている。また、金銭管理帳により、家族に定期的に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	連絡帳に家族からの意見、不満等が記入してある時や直接に要望等を聞いた時にはすぐに対応を検討し、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職者は少ないために馴染みの職員によるケアが行われ、ユニット間も日常的に交流をもつ機会を多くしている。職員に対しては相談や対話を多くして、働きやすい職場づくりに努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人グループ内外の研修にも積極的に参加させ、日常的にもトレーニングしていく事を進めている。また、資格取得の支援も行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームからの見学や研修等の受け入れは行われている。地域の同業者とのネットワークづくりや勉強会等の交流はこれからである。	○	同業者との職員同士が交流を行い、サービスの質の向上を図る事が望まれる。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者や家族と相談しながら、ホームの雰囲気ゆっくと馴染んでもらえるように、サービス利用開始の工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は家族や入居者に生活体験など聞きながら、生活の知恵を学んでいる。入居者の喜怒哀楽に関心を寄せながら、本人の得意とする分野での力が発揮出来るように支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が困難な利用者も含めて、日常の行動や表情から意向を汲み取り、把握するように努めている。家族や関係者から情報を得て本人本位に支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族には日常のかかわりの中で、思いや意見や要望を聞き、職員全員の意見を取り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に基づいた期間に応じた実施状況や効果を評価し、変化が生じた場合は、本人、家族や関係者と話し合い、現状に即した新たな介護計画を作成している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かしながら本人や家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人が希望するかかりつけ医がある場合は、適切な医療が受けられるように支援している。また、家族の通院介助ができない場合は事業所で対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合の対応に係る指針について」「認知症対応型共同生活介護サービスの開始にあたり」という確認書で家族、本人に説明し、また、かかりつけ医等とも話し合い、全員で方針を共有している。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	敬語を使う、大きい声を出さないなど、言葉かけや対応について会議等で話し合っている。面会簿等についても配慮されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な週間予定計画は立てているが、それを優先するのではなく、入居者一人ひとりの体調や気持ちを大切に、希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者からの希望を取り入れて献立を作り、楽しい食事になるように取り組んでいる。調理、後片付けについても可能な入居者には、一緒にしてもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングにあわせ、朝からでも入りたい時にはいつでも入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴から、得意分野や買物等の楽しみ事を引き出し支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や花見、お出かけなど、年間行事計画に沿って出かけている。地区運動会、夏祭り等にも出かけたり外食するなどしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員に鍵をかけることの弊害を周知し、日中は鍵をかけない自由な生活を支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設施設との連携で夜間想定も含めた年2回の避難訓練を消防署や地区自衛消防団の協力のもとで行っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者がおいしく食べられる工夫をし、毎日の食べる量や、1200ccを目途にした水分摂取量をチェック表に記入し、栄養やタンパク質が低下しないように注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには掘りごたつのある和室があり、廊下には絨毯がひかれ、音にも配慮されている。また入居者と職員が季節ごとにポスター作りをし、生活感や季節感を採り入れ、居心地よく過ごせるように工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	のれん、写真やタンスなどの使い慣れた物や好みの物が持ち込まれており、本人が居心地よく過ごせる工夫がなされている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。